中島公園東通横断歩道橋の取り扱いに関する協議会（第２回）

日　時：令和元年 10 月 30 日（水）　10 時 30 分～11 時 30 分
場　所：豊水会館 2 階会議室
出席者：
　＜内訳＞　地域の方：８人、学校関係者：１人、警察関係者：１人、札幌市：１０人

中島公園東通横断歩道橋周辺の交通量（歩行者）調査について

資料１の上の１番「時間帯別横断歩道橋利用者数」について、令和元年 7 月 17 日（水）に、通常の交通量調査時間帯である 7 時から 19 時までと、その後 24 時 30 分まで延長して行った結果を載せている。19 時まででも利用者は、大人 63 人、子供 2 人、合計 65 人であった。また、24 時 30 分までの人数を入れても、総数 91 人と 100 人を 1 割ほど下回った結果となった。下の２番「過去の調査の比較」で見てもらってもわかるように、前回最後の平成 28 年 9 月での大人 122 人、子供 3 人、合計 125 人から更に利用者数は減少した。なお、乱横断もご覧の人数となっている。以上が、第 1 回協議会後の交通量調査の結果である。

意見の結果について　　〇町内会・地先・小学校　　◆市・警察

(1) 意見の募集結果について（道路管理課）

現地の歩道橋の西側の階段と東側の階段の上と下、合計４カ所に「中島公園東通横断歩道橋の撤去・存続の意見募集」と設置し、7 月 24 日から意見を募集した。

また、看板のほか、歩道橋近隣の町内会にお願いして地域に回覧してもらったほか、札幌市ホームページでも意見を募集した。

その結果、直接札幌市には２件の意見があったので、紹介する。

１件目は横断歩道橋を利用している近隣の方で、「貼り紙を見て、連絡した。平成 28 年の利用人数はヤマハがなくなったときの人数であった。これからヤマハの後に何か建つと人数は増えていくので、横断歩道橋を撤去されては困る。横断歩道まで離れているので、横断歩道橋を使っている。今後も横断歩道橋を残してもらいたい。」との意見であった。

もう１件は、撤去提案理由を知りたいとのことだったので、「現在の利用者が少なく、車から見通しが悪く、更に築 50 年近く経っているので老朽化が進んでいる。」と説明した。信号機が付かないのか聞かれ、「前後約 100mにも信号機付き横断歩道があるので、警察の基準ではこの位置に信号がつけれないと聞いている」と伝えた。

なお、ホームページに寄せられた意見はなかった。

(2) スクールゾーン実行委員会での意見（資生館小学校）

今日、参考資料としてスクールゾーンだよりを配布した。9 月 10 日に関係者が集まって、スクールゾーン実行委員会を開催した。建設局が経緯等を説明した後、参加者から意見をいただいた。「撤去後に横断歩道の設置を要望する」や「撤去すると乱横断等

の危険が増え、それを防ぐため柵が必要」など、横断歩道橋撤去に対しての賛成反対というよりは、撤去後の安全対策を求める意見が多かった。

スクールゾーンだよりにそのすべてではないが、意見を掲載し、9 月 20 日に全家庭に配布し、スクールゾーン実行委員会としても周知した。学校の対応として、ソフト面で子供に対して安全指導を継続できるが、ハード面は難しいと感じている。

このスクールゾーン実行委員会後に札幌市 HP に何か意見があったか？

⇒学校関係者から直接意見はもらっていない。（道路管理課）

(3)交通管理者からの意見（南警察署）

横断歩道橋撤去箇所に横断歩道を新たに設置するとなれば､信号機をつけることになる。また、基準で信号機と信号機の間は 150m以上となってる。今回の場所は 9 条通とライフォート前の信号機間隔が 150mくらいであることと、横断者数からも必要性がないことから、警察としては今のところ信号機と横断歩道を設置する考えはない。また、現地には歩行者横断禁止の規制がかかっており､その標識もあり､乱横断は違反になる。実際の歩行者横断禁止区間は 70m程で、パークホテルの出入り口の付近である。規制の経緯は不明だが、歩道橋があったことで、歩道橋を渡る人と渡らない人という状態が生まれ、渡らない人が道路上を横断すると危ないということから規制をかけたと推察される。歩道橋ができた経緯は、前回も出たが、パークホテルとその施設があり、その後ヤマハに変わったが、横断の必要性があった。今現在ヤマハ側に施設がないので、そこを渡る必要性がなくなってきている。この横断歩道橋撤去をきっかけに歩行者横断禁止規制自体外していいとも考えられる。しかし、ここは交通量も多いし場所だし、横断歩道以外で車に轢かれて亡くなるというのも道内で多いので、乱横断防止柵を設置するなど物理的な処理があればいいと思う。

(4)その他の意見（町内会ほか）

〇ヤマハがあったとき、多くの保護者の方が使っていたので、ヤマハが当時、保守点検とまでは言わないが、清掃していた。しかし、ヤマハがなくなって以降、急速に劣化というか、掃除もされていなく、歩道橋が汚くなってしまっているという話があった。MICE 施設、ヤマハ跡地側に通路が建設されることで人の流れが変わるのではないかということがあり､それらの開発がどのようになるのか見据えた方がいいのではないかと思う。前回のとき MICE の件は､建設局ではわからないと聞いて、縦割り行政のよくないところがでているなと思った。

〇横断歩道橋は、パークホテル利用客に関して利用頻度があまりないと思う。

◆近隣の方からの意見を紹介する。

「どちらでも構わない。」

「撤去してもらいたい。」

「中島公園内の地下鉄の出口からパークホテル敷地内を横切って、横断歩道橋を渡っている方もいるので、できれば落としてほしくない。」

撤去、存続に関する意見交換

意見

〇パークホテル側の歩道を北から南に行くと、正面に歩道橋がある。右に行くとパークホテル側に入ってしまう迷いが生じて、車道の方に出てしまう人がいるため、撤去した方が見通しの良い歩道になる。

◆交通量調査を実際行っていた人からの報告であるが、今言われた箇所の自転車や人が南側に進んでいくと、目の前に横断歩道橋があり右側にはパークホテルがあるので、一旦車道にでて歩道橋を過ぎてから歩道に戻ろうとしたが、横断防止柵で歩道に入れなく、そこで車道を乱横断し反対側の歩道に渡ったと思われる方が数名いたと聞いてる。

〇撤去賛成である。この道路は、北海道マラソンのコースでもあり、昨今の話によると来年のオリンピックにおいて札幌でマラソンが行われるとなると、歩道橋がない方が見通し良いと思う。また、市はアクセス道路を考えており、MICE 施設につなげていくのではないかと思ってみているが、総合的にまちづくりを考えていくと、歩道橋はないほうがいいのではないか。

◆オリンピックは正式に決定ではないが、時間的にそれまでの撤去は難しいと思う。

〇町内会で山車をもっており、お祭りの時必ずこの通りを通るが、山車に乗ってる人が横断歩道橋にぶつかりそうになるので、撤去してもらった方がありがたい。

〇あまり渡る機会がなく、歩道は歩きづらい感じはある。渡る人をうまく説得して、撤去してもいいのではないか。

◆事前に地先に説明に行ったときに、「使っている方もいるので、できれば残してほしいが、反対運動まではしない」と言っていた。

利用者数調査結果

〇今の利用者は何人か？この人たちはあるから渡っているのか、必要だから渡っているのか、一人一人に聞いてるのか？

◆7－19 時で 65 人。一人一人には聞いてない。

〇横断歩道橋があるから利用してるのかもしれない。

費用

◆撤去費用が、具体的にいくらかなどの設計作業が必要なので、今の時点で、具体的な撤去時期の話はできない。撤去が決まってから、場合によっては１年単位で時間をいただくことになる。

◆維持管理で毎年約 200 万円かかっているので、撤去が決まれば、少しでも、早く撤去したいと考えている。

◆撤去費用について、豊水横断歩道橋の場合、雑工含めて 3,000 万円程度だった。架線や地下埋設物もあり、歩道の付替えも含まれている。もし、中島公園東通横断歩道橋を落とすなら、ほぼ同額の 3,000～3,500 万円を見込んでいる。

◆5 年ごとに利用者数調査を行うので、今回仮に存続とした場合に、令和 3 年に調査し、利用者数が増えれば撤去候補から除外されるが、このまま利用者数が少ないと

撤去候補継続となる。撤去するのに 3000 万円ほどかかるので、簡単に撤去できない可能性がある。

MICE 施設との関連性

◆MICE やヤマハのお話もあったが、ヤマハの跡地については、現段階で具体的にどうなるかわからないので、防止柵をつけるに際しヤマハとの協議となる。もし、撤去と決定されれば、予算の関係もあるが、作業スケジュールを考え、MICE とは関係なく単独で進めていくことになる。存続になれば、何年か後の MICE 関連の中での再度検討となることも考えられる。

撤去となった場合

〇歩道橋撤去後、信号機の周期は変わるか？

◆ライフォート前の押しボタン式は押してから比較的早く変わると思うが、9 条通の方は交通の流れで管理してるので、変わらない。

◆豊水横断歩道は変則交差点にかかる横断歩道橋だったので、信号、横断歩道でお話があったと聞いている。対応について具体的に示しながら話したと聞いている。撤去について同意をもらえるなら、撤去工事は中央土木が担当となり、解体の検討のプランを立てることになり、安全対策等の検討が開始となる。同意をもらった後に、解体計画に進んでいくことになる。

安全対策

◆懸念されている乱横断について、歩道橋がなくなった場所はそこだけ横断防止柵が歯抜けとなってしまい、スクールゾーン実行委員会の中でも「全線柵をつけてほしい」と言われた方がいた。沿線施設出入口があるので、全線は難しいが、少なくとも横断歩道橋があった箇所は、何か代わるものを設ける必要があると考えている。ヤマハ跡地等とは、もし工事時期があえば、その出入口位置を考慮することも可能。引き続きヤマハの管理者と協議してくことになる。パークホテル側も札幌市の工事担当者と協議させてもらうことになる。

〇豊水横断歩道橋の時は 3 回協議会があったが、その資料を見ると第 3 回のときに安全対策の話をしていた。スクールゾーン実行委員会から柵の設置のやり方のお願いがあったが、札幌市側からの安全対策いついての話はないか？

◆資生館小学校からハード面の話も出たとおり、乱横断防止柵に関して、どの区間に設置するかなどは地域と相談させてもらうことになる。ソフト面については添付資料 2 のとおり、連町、交通安全推進委員会、交通安全母の会などの協力をいただきながら、指導啓発、資生館小学校は児童への指導、札幌市の方でも地域の方に周知をしていく必要があると考えている。

協議会の方針について

〇協議会に雰囲気的には撤去の方向だ。

◆今の意見の通り協議会の結論は「撤去」ということでよろしいか？

（異議なしの声）

今後の流れについて

◆協議会では撤去と結論付けされたので、今後、スケジュールや柵の件については地域の方と相談しながら進めていきたいと考えている。

◆この横断歩道橋は市が所有者なので、市内部で撤去の方針決裁を上げなくてはならない。それができて初めて正式に撤去決定となる。協議会の意見を踏まえた形で撤去ということで進めていく。それが終われば実際の工事については中央区土木センターが担当になる。具体的な設計・工事をいつするとかは、その時地域と協議させてもらうことになる。今回の協議会の内容について、撤去が決定したことも札幌市のホームページに載せていく。その内容で皆さんに周知してもらうことなるので、よろしくお願いする。